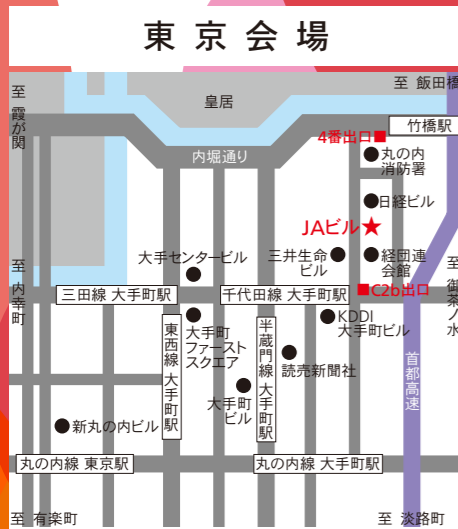


# 社会常識でわかる 投資の基本



**東京会場**  
**JAビル カンファレンスセンター**  
 4階 401A  
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
  - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線 大手町駅下車 C2b出口
  - ◎地下鉄東西線 竹橋駅下車4番出口
- お車でのアクセス
  - 首都高速道路：神田橋インターチェンジをご利用ください



**名古屋会場**  
**ミッドランドホール**  
 名古屋市中村区名駅4-7-1  
 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F  
 TEL:052-527-8500

- 電車でのアクセス
  - ◎JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
  - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- お車でのアクセス
  - 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分 駐車場の収容台数123台
  - 中部国際空港(セントレア)から名鉄空港特急利用で28分



**大阪会場**  
**ヒルトン大阪**  
 大阪市北区梅田1-8-8  
 TEL:06-6347-7111

- 電車でのアクセス
  - ◎大阪環状線・東海道本線・宝塚線 (JR) 大阪駅下車徒歩2分
  - ◎阪神電車 梅田駅下車 徒歩1分
  - ◎地下鉄四ツ橋線 西梅田駅下車 徒歩1分
- 駐車場のご利用
  - ◎24時間営業
  - ◎300台収容(高さ2.5mまで)

**お申し込み方法**  
 右記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からの申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

**こちらからお申し込み下さい**

- ① <http://www.fromhc.com>  
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail (info@fromhc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

HCアセットマネジメント株式会社  
 一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会加入  
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11 Tel.03-6685-0681 Fax.03-6685-0686

**4/16 (火) 東京**  
 15:00~17:30 (開場14:30)  
 会場：JAビル カンファレンスセンター 4階 401A  
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル  
 TEL: 03-3212-1912(代)

**4/22 (月) 名古屋**  
 14:00~17:00 (開場13:30)  
 会場：ミッドランドホール  
 名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F  
 TEL: 052-527-8500

**4/23 (火) 大阪**  
 14:00~17:00 (開場13:30)  
 会場：ヒルトン大阪  
 大阪市北区梅田1-8-8 TEL: 06-6347-7111

[人+産業金融=成長]  
 成長を支える投資の原点へ



## ご挨拶に代えて

### 投資信託は何の役にたつのだ

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2018.8.30)より

投資は資金の運用ですが、資金自体に意味はなく、資金は消費されたときに意味を生みます。その消費の時点が現在ではなくて将来のどこかにあるとき、時間の利益を生かして資金の増殖を図るのが投資なのです。したがって、投資とは、将来時点に予定された消費目的に対して、その定められた期間との関係において最適な方法により、合理的に期待される投資収益を稼得することになります。

消費原資である投資元本を投資収益によって増殖させようと努力することへの基本的な動機は、購買力の保存です。消費計画を期待通りに実現させるためには、少なくとも物価上昇分だけは投資収益で補う必要があるわけですが、このことは、むしろ逆に、投資が可能なのは、生きた経済の活動のなかに資金を投じれば、少なくとも物価上昇分だけは資金が増殖すると考えることに十分な合理性があるからだと説明したほうがいいでしょう。ちなみに、生きた経済に資金を投じるから、投資というのです。

投資にはリスクがありますが、投資のリスクは、投資の社会的機能において考えられねばなりません。つまり、投資した資金が最終的には消費されるのならば、投資のリスクではなくて、むしろ、消費のリスク、より正確には、消費計画の実現度のリスクが問題であるはずだということです。

消費が確定している資金は投資しない、この家計規律がリスク管理の基本であるわけです。老後生活資金の形成において、自助努力の必要性が強調されるようになってきて、そこに金融庁の重点施策であるNISAが位置づけられるわけですがけれども、積立は半ば強制的に家計規律を働かせる仕組みであって、家計規律が働くからこそ、老後という遠い先まで消費されることのない資金の運用計画が長期の視点において立案され得て、そこに合理的なリスクのもとで元本を増殖させる可能性が開けるからこそ、豊かな老後生活への期待も生じるわけです。

講師：森本紀行

## 講演内容

日常的な言葉で、常識的な論理で、資産運用を語ろうというのは、ひとつには、そのほうが自分自身に対して理解しやすいからですが、もうひとつには、そのほうが資産運用の専門家でない他人に対して説明しやすく、説明が受け入れられやすいからです。

年金基金等の資産運用の担当者にとって、自分自身が資産運用を理解していることは重要ですが、それ以上に、全く資産運用の知識をもたない関係者(母体企業や他部門の人など)に対して、資産運用を説明し理解してもらえることが重要です。

これまで簡単に使っていた片仮名の意味を徹底的に再検討し、対応する日常的な日本語を厳選する努力をしていくことで、十分に理解できていなかった専門用語の理解が深まり、資産運用の本当の意味がみえてくるはずです。

また、投資というと、何か特別な技能によって上手にお金儲けをすることだ、というふうになってしまう人も多いでしょう。とんでもないことです。投資とは、銀行融資と同じように、金融の仕組みにすぎません。企業や政府などの資金調達必要性に対して資金供給するのが、投資の役割です。

株式といい債券といい、それを発行した企業や政府からみれば資金調達の道具であり、それを取得する投資家の立場からみれば投資対象なのです。であれば、資産運用は企業の財務行動の反対側にあるにすぎないのですから、その資産運用を理解できない企業人などあり得ないことがわかるでしょう。そのように、資産運用を企業経営の常識のなかに再構築してみましよう。

## 講演項目

### ●資産運用の高度化

- ◎ガバナンス改革
- ◎金融の未来
- ◎金融の目的そのものへ

### ●ポートフォリオ管理の理論

- ◎投資の本質
- ◎インカム戦略
- ◎リスクテイク戦略(リスクアペタイトフレームワーク)

### ●資金提供の手段

- ◎事業価値と資本構成
- ◎オルタナティブとは何か



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長

### 森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。